

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(40歳代男性)ありました。本年の累積報告数は22例となりました。発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については、下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- A型肝炎の報告が1例(10歳代男性)ありました。感染地域はインドで、感染経路は経口感染です。本年の累積報告数は10例となりました。
- レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(50歳代男性)ありました。症状は発熱、肺炎、肝障害です。感染地域は国内、感染経路は水系感染です。本年の累積報告数は19例となりました。
- アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)の報告が2例(40歳代及び60歳代男性)(第34週追加分報告含む)あり、本年の累積報告数は17例となりました。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(80歳代女性)あり、本年の累積報告数は24例となっています。
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告が1例(60歳代男性)あり、症状はショック、中枢神経症状等です。本年の累積報告数は6例となりました。
- 梅毒の報告が2例(ともに20歳代女性)ありました。本年の累積報告数は47例となりました。
- 百日咳の報告が2例(10歳未満男性1例及び40歳代女性1例)ありました。本年の累積報告数は39例となりました。
- 風しん(検査診断例)の報告が1例(30歳代男性)あり、症状は発熱、発疹等です。感染地域、感染経路は不明です。本年の累積報告数は3例となりました。
- RSウイルス感染症の定点当たり報告数が1.81となり、前週の0.79から倍増しました。

◆ 今週のトピックス:<風しん>

風しんの全国の累積報告数は362例となり、平成24年から25年にかけての大流行以来の増加となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 2例(その他結核 2例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 226例(肺結核 96例, その他結核 60例, 潜在性結核感染者 70例)うち喀痰塗抹陽性 56例】
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数22例】
- 四類:A型肝炎 1例【1月以降の累積報告数 10例】
- 四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 19例】
- 五類:アメーバ赤痢 2例【1月以降の累積報告数 17例】
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 24例】
- 五類:劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例【1月以降の累積報告数 6例】
- 五類:梅毒 2例【1月以降の累積報告数 47例】
- 五類:百日咳 2例【1月以降の累積報告数 39例】
- 五類:風しん(検査診断例) 1例【1月以降の累積報告数 3例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3.12	134
	② RSウイルス感染症	1.81	78
	③ 手足口病	0.88	38
	④ ヘルパンギーナ	0.77	33
	⑤ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.53	23
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

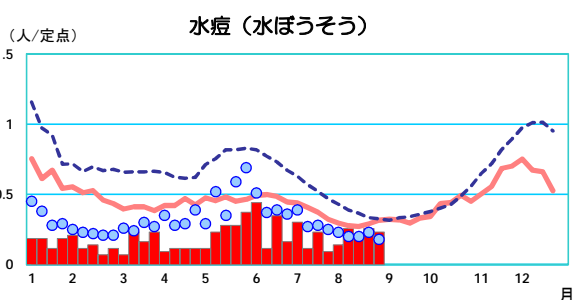
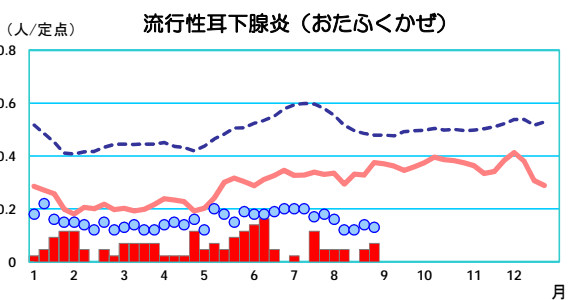
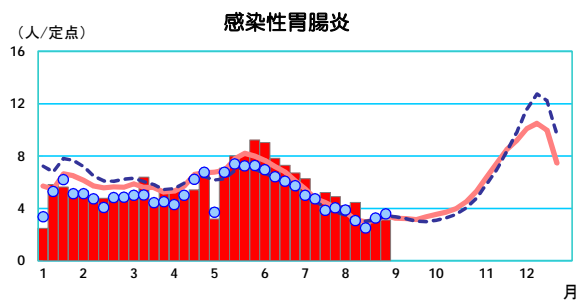
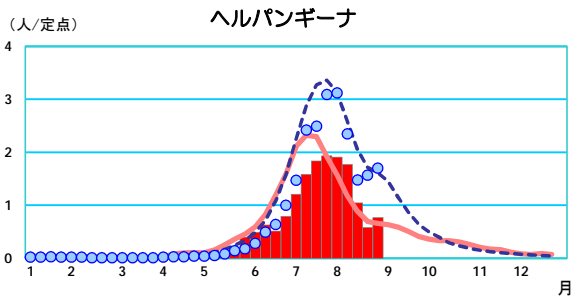
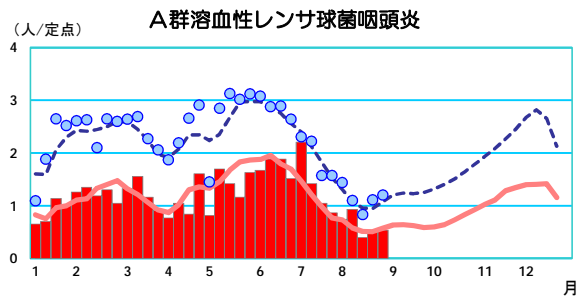
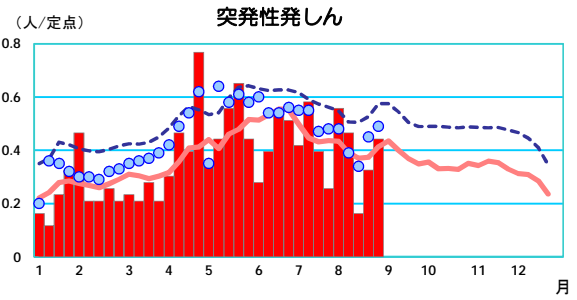
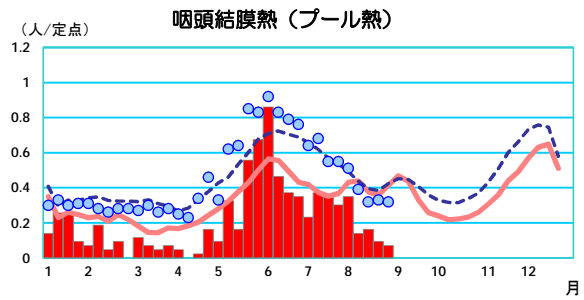
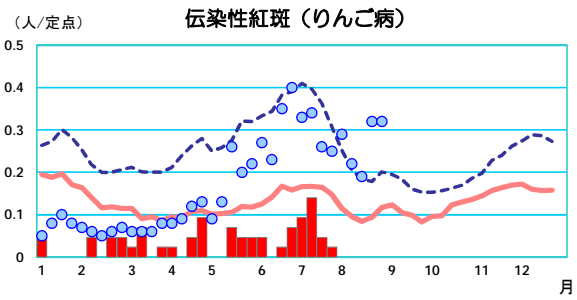
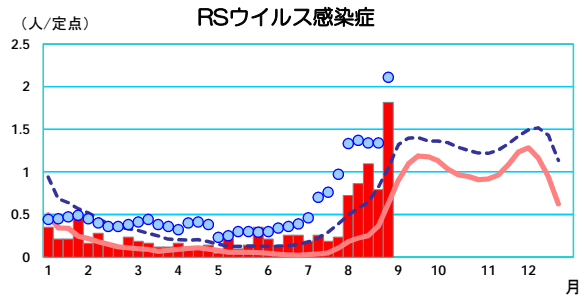
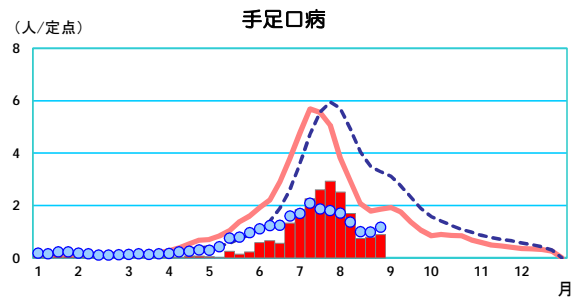
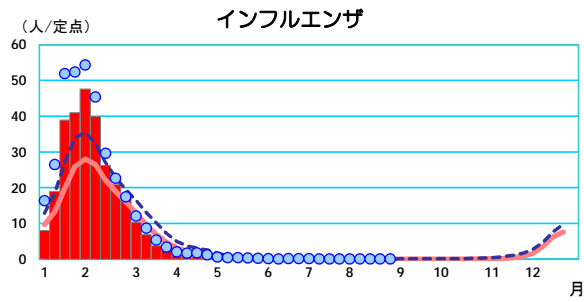
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<風しん>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成30年9月5日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成30年）



第35週(8月27日～9月2日)トピックス: <風しん>

■京都市及び全国の発生動向

京都市で風しんの報告が1例(30歳代男性)あり、本年の報告数は3例となりました。全国の累積報告数は362例となり、平成24年から25年にかけての大流行以来の増加となっています(表1)。とくに首都圏(東京都, 千葉県, 神奈川県, 埼玉県)で、第30週以降に患者が急増しており(図1)、周辺部への拡大など、今後の発生動向に注意が必要です。患者報告数を性別、年齢別でみると30～50歳代の男性が非常に多く、全体の65%を占めています(図2)。この年齢層の男性は1977年から1994年まで風しんの定期予防接種の対象者が女子中学生に限られており、風しんの予防接種を受けていない世代にあたり、風しん抗体価が低い人が20%程度存在するためです。

■症状と予防

風しんは、風しんウイルスの感染によっておこる急性の発疹性感染症です。非常に感染力が強く、くしゃみやせきなどによる飛沫感染で、ヒトからヒトへ感染します。潜伏期間は2～3週間で、主な症状は発疹、発熱、耳介後部や後頭部のリンパ節の腫れなどです。大人がかかると、発熱や発疹の期間が子供に比べて長く、関節痛がひどいことが多いとされています。

妊娠初期の女性が感染すると、胎児が風しんウイルスに感染し、難聴、心疾患、白内障などの障がいをもった赤ちゃんが生まれる可能性があります(先天性風しん症候群)。

予防には2回のワクチン接種が有効ですが、妊娠中の女性は接種を受けられないため、周囲の人、特にパートナーがワクチン接種を受けてください。また、抗体を持たない、又は抗体価の低い妊娠中の方は、可能な限り人混みを避けるなど予防策をとってください。

京都市では、風しんの抗体検査や予防接種に対して、一定の条件がありますが、助成制度を実施しています。詳細については、下記のホームページを御覧ください。

○京都市情報館「MRワクチンの助成について」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000239155.html>

表1 京都市及び全国の報告数の推移(平成22年～平成30年第35週まで)

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年 35週まで
京都市 (人)	0	0	26	210	1	1	0	0	3
全国 (人)	87	378	2,386	14,344	319	163	126	91	362

図1 都道府県別の累積報告数の推移(本年第35週まで)

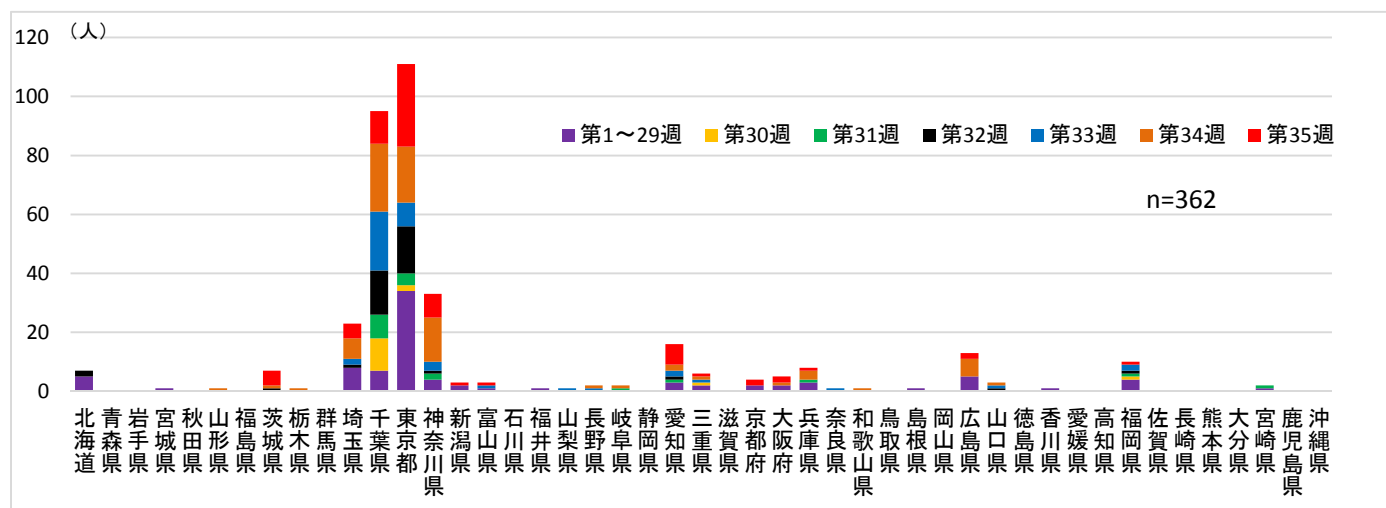
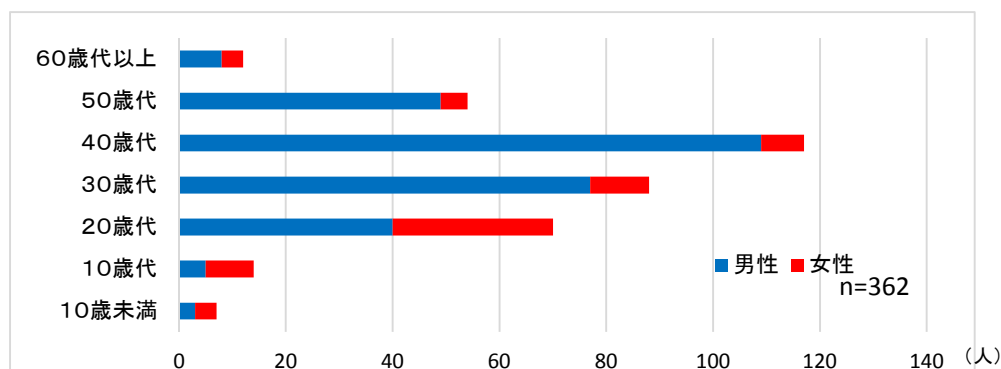


図2 全国の性別、年齢階級別の報告数(本年第35週まで)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第35週

疾病,行政区別報告数

平成30年8月27日～平成30年9月2日

データ入手日:平成30年9月5日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	2	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	3					
北	-	2	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	3					
上京	-	2	-	-	2	1	1	-	1	1	-	-	-					
左京	-	11	-	3	37	4	14	-	1	1	1	-	-					
中京	-	7	-	2	4	-	6	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	3	-	-	24	-	-	-	1	1	-	-	-					
山科	-	9	-	5	3	1	1	-	6	2	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-					
南	-	2	-	1	6	1	-	-	1	2	-	-	-					
右京	-	19	1	7	10	1	2	-	2	5	-	-	-					
伏見	-	20	1	4	27	2	7	-	5	11	2	-	-					
西京	-	3	1	1	19	-	5	-	1	3	-	-	1					
京都市計	-	78	3	23	134	10	38	-	19	33	3	-	4	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	0.50	-	-	0.50	-	0.25	-	0.25	-	-	-	3.00					
北	-	0.50	-	-	0.50	-	0.25	-	0.25	-	-	-	3.00					
上京	-	0.67	-	-	0.67	0.33	0.33	-	0.33	0.33	-	-	-					
左京	-	2.75	-	0.75	9.25	1.00	3.50	-	0.25	0.25	0.25	-	-					
中京	-	2.33	-	0.67	1.33	-	2.00	-	-	2.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	1.50	-	-	12.00	-	-	-	0.50	0.50	-	-	-					
山科	-	1.80	-	1.00	0.60	0.20	0.20	-	1.20	0.40	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-					
南	-	0.67	-	0.33	2.00	0.33	-	-	0.33	0.67	-	-	-					
右京	-	3.80	0.20	1.40	2.00	0.20	0.40	-	0.40	1.00	-	-	-					
伏見	-	2.86	0.14	0.57	3.86	0.29	1.00	-	0.71	1.57	0.29	-	-					
西京	-	0.60	0.20	0.20	3.80	-	1.00	-	0.20	0.60	-	-	1.00					
京都市計	-	1.81	0.07	0.53	3.12	0.23	0.88	-	0.44	0.77	0.07	-	0.40	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第35週

年齢階級, 疾病別報告数

平成30年8月27日～平成30年9月2日

データ入手日:平成30年9月5日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	78	6	17	46	6	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		3	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		23	-	-	2	3	3	3	1	1	2	2	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		134	-	14	28	15	10	7	2	3	3	9	1	16	8	18	-	-	-	-	-	-
水痘		10	-	-	-	1	-	2	1	1	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		38	-	5	9	10	5	2	2	2	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		19	1	7	9	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		33	1	4	13	6	2	5	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	1.81	0.14	0.40	1.07	0.14	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.07	-	-	0.02	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.53	-	-	0.05	0.07	0.07	0.07	0.02	0.02	0.05	0.05	-	0.05	-	0.09	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		3.12	-	0.33	0.65	0.35	0.23	0.16	0.05	0.07	0.07	0.21	0.02	0.37	0.19	0.42	-	-	-	-	-	-
水痘		0.23	-	-	-	0.02	-	0.05	0.02	0.02	0.07	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.88	-	0.12	0.21	0.23	0.12	0.05	0.05	0.05	0.02	-	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.44	0.02	0.16	0.21	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.77	0.02	0.09	0.30	0.14	0.05	0.12	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.07	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.40	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	0.20	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第35週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成30年9月5日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	3	1	-	-	1	-
RSウイルス感染症	10	31	37	47	34	78
咽頭結膜熱	13	15	6	7	4	3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37	32	40	17	23	23
感染性胃腸炎	211	181	192	108	137	134
水痘	4	6	11	9	11	10
手足口病	126	108	73	32	34	38
伝染性紅斑	1	-	-	-	-	-
突発性発しん	11	24	20	7	14	19
ヘルパンギーナ	83	82	76	45	25	33
流行性耳下腺炎	2	2	2	-	2	3
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	7	8	3	1	4	4
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	508	490	460	273	289	345

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.04	0.01	-	-	0.01	-
RSウイルス感染症	0.23	0.72	0.86	1.09	0.79	1.81
咽頭結膜熱	0.30	0.35	0.14	0.16	0.09	0.07
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.86	0.74	0.93	0.40	0.53	0.53
感染性胃腸炎	4.91	4.21	4.47	2.51	3.19	3.12
水痘	0.09	0.14	0.26	0.21	0.26	0.23
手足口病	2.93	2.51	1.70	0.74	0.79	0.88
伝染性紅斑	0.02	-	-	-	-	-
突発性発しん	0.26	0.56	0.47	0.16	0.33	0.44
ヘルパンギーナ	1.93	1.91	1.77	1.05	0.58	0.77
流行性耳下腺炎	0.05	0.05	0.05	-	0.05	0.07
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.70	0.80	0.30	0.10	0.40	0.40
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	12.32	12.00	10.93	6.43	7.02	8.33

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。